く自然観察の

こんぶくろ池道

NPO 法人こんぶくろ池自然の森 Tel: 04-7132-8800

Fax: 04-7132-8806

Email: info@konbukuroike.com

URL: http://www.konbukuroike.com

2019年12月 第68号

1990年(平成2年) に開園した牛久自然観 察の森は、原生の大自然ではなく、昔から生活 の身近にあった里山の自然を対象に、それぞれ の地域に残されている自然環境をより良いかた ちで保全し、多様な生きものが生息できるよう な環境づくりを行っています。雑木林やスギ林、 草原などをフィールドに、四季を通じて多種多 様な生きものの息づかいを感じながら散策いた だけます。

※ 観察の森とは、環境庁(当時)が補助事業として 実施した「身近な自然活用地域整備事業」で整備 された全国10箇所にある施設のことです。

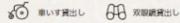
■ de	eta		とな生	物	列桁			
用	園:平成2年4月	明	乳	類	:		8	¥.
an	積:約21ha	両性	主原生	類	:	1	71	Œ.
	路:1周約3km	鳥		類	:	8	41	Œ.
所	管: 牛久市役所都市計画課	魚		類	:	1	5	
指定管理者:特定非営利活動法人		昆	虫	類	: 7	4	41	Ē
	うしく里山の会	植		物	: 5	0	41	4
			草本	類	: 3	4	2	Œ.
			木本	類	:	9	11	Œ.
			シタ	類	:	2	2	Œ.
			シタ	類	:	2	21	Œ.

施設で利用できるもの















荷物お預かり

11月の活動報告

11月19日(火)

牛久自然観察の森の視察結果について

中川望

1. 視察等の概要

参加者: (当 NPO) 岡本、上田、藤原、伯耆田、橋本谷、宗 像、中川、(柏市公園緑政課)3名、(柏市委託先)1名の計 11名

当日のスケジュール:柏市公園緑政課集合(13時)→(柏市バ ス)→牛久自然観察の森着(14時)→園内観察→牛久自然観察 の森発 (16 時) → (柏市バス) →柏市公園緑政課着 (17 時)

1時間のガイドを依頼。3,300円/時間(税込)、入園料は無 料。ガイド費は牛久市内、竜ケ崎市内の住民等は無料(竜ケ崎 市と牛久市は施設間利用協定が有り)

2. 自然観察の森の概要

左記参照(下記 URL より DL したパンフレットより抜粋) http://www.city.ushiku.lg.jp/page/page000669.html

- 3. 視察結果
- ① 管理について
- ・ 牛久市から委託され、「NPO うしく里山の会」が管理を実 施
- 常駐3名、週2、3回のパートさん2名、月2回の学生ア ルバイト数名で管理し、イベントの開催等を実施
- ② NPO と牛久市の関係(詳細が不明な点があり)
- 指定管理者として、NPO が公園を管理している。主な管理 は草地や落葉樹林であり、針葉樹が分布するエリアは私有 地であることもあり、あまり管理していない(針葉樹の林

運営体制・役員

会の運営は、総会のほか理事会と運営委員会により行われています。 運営委員会は、理事、事務局員、各事業責任者等で構成され、会の活動全般についての検討を行っています。 (原則,毎月第3金曜日に開催)



2019年度役員 (R1.5.19) NEW

役職	氏名	備考
代表理事	齊藤 孝	
副代表理事	丸山淳子,木谷昌史	
理事	秋山侃,雨宮廣之,坂弘毅,蓮尾亮	理事7名
監事	阿部幸浩,小林久	監事2名

※定款第13条(種別及び定数) 理事5人以上15人以内。監事2人。理事のうち1人を代表理事,2人を副代表理事とする。

出典: NPO うしく里山の会 HP より抜粋 http://ushiku-satoyama.org/profile/profile.html





床は、こんぶくろ池公園に類似している印象。アオキ が生育している)

- ・ 公園の一部、駐車場近くの梅林では、炭焼きを行い、炭づくりイベントを開催して炭の配布・販売をしているが、儲けることが目的ではない。炭焼きグループは無償のボランティアで、月2回活動をしている
- ・ NPO の中にあるボランティアで活動しているチームは、園内の別のエリアを管理しており、常駐者が管理しているエリアとは異なる。また、常駐者と一緒に管理活動を行うわけではない。当該ボランティアチームは、牛久市に許可をもらって活動している、という仕組みである

③ 林床の伐採について

- ・一部の林床の下草刈りは造園業者に委託。例えば、コジュケイの森では5万円/日で、2日間で実施。下草刈りの時期は、今年は6月に実施。根元まで刈らず、また、刈ったものは林内に集める。林外には出さない。刈った植物を熊手でかき集めるにあたっては、林床を傷つけないよう、落ち葉等が残るよう、造園業者に指示をしている
- ・ 何もしないと、林床にはアズマネザサが出てくる。アズマネザサを適切に管理するには、根からの栄養分を地上部に移動させる 7-8 月が理想的であるが、7-8 月にササを伐採し林床がスッキリすると、それ以降も林床がスッキリするため、植物愛好家から苦情が来た。このため、今年は 6 月に林床管理を行った。

④ 大径木の伐採について

- ・ 現状では、伐採しなければならない落葉樹の大径 木はない。また大径木の管理に関する計画もないが、 今後検討する必要がある。
- ・ 台風等で倒木があった場合、大きいものは造園業 者に委託して処理をする。園路内の小枝等は職員が対 応する。
- ・ 職員の一部はチェーンソーを扱える資格を有する が、安全上無理はしないようにと、牛久市から指導が ある。
- ・ 針葉樹林が生育する部分は私有地(敷地の約8割 が私有地)であるため、基本的にスギ等の伐採は実施 していない
- ・ 今後は森林贈与税を利用して、間伐を行う可能性 があると、牛久市から聞いている
- ⑤ 危険生物への対応について

・ スズメバチが園路の近く(目安3m以内)にある場合、注意の看板を設置する、という処置を行っている。スズメバチも観察対象の一種であるため。園路の移動等が難しい場合は、園路の閉鎖を行う(当日もスズメバチのため、一部は園路が閉鎖されていた)







⑥ 草地の管理について

- ・ 開園当初から、エントランスから管理棟までの通路の両側の草地を対象に、伐採回数を変えて管理を行っている。開園当初はセイタカアワダチソウの駆除が目的の一つであった
- ・ 草地の伐採時期は、バッタ類の成長にあわせて実施しており、5月下旬、1齢が出るころは、草の高さをある程度保つようにし、その後、バッタの成長にあわせて、段階的に草刈りのエリアを移動させている。バッタは産卵を園路の砂地に行うが、バッタの産卵を考慮して、園路を砂地にしたのではない
- ・ 大木の近くに設置したベンチ周辺の草地は、家族 連れが利用しやすいよう、草丈を低くするように刈 っている
- ・ススキが株状に出てきたので、一部残すようにしている。セイタカアワダチソウも、カマキリの産卵場になるので、残している区域もある(臨機応変に、伐採している印象)
- ・草刈りは、手押しの草刈り機、刈払機、鎌などで 行っている(常駐者が考えながら実施している印 象)

⑦ 水の管理について

- ・ 複数の池があるが、管理棟近くにある井戸からく み上げてきた地下水を、最上流の池まで地下配管を 通して入れている
- ・ 井戸水は、一時的にタンクに貯めた後に池に流す 仕組み。タンク内の水がある水位まで下がると、自 動で地下水をくみ上げる仕組みである
- ・ 敷地内には一部湧水があるが、湧水量は少ない。 冬季になると湧水量は増える
- ・ 井戸の深さの詳細は不明であるが、10m ぐらいか。揚水量は小川のせせらぎができるぐらいである (かなりの量をくみ上げている様子)
- ・ 園地内の地下水位は高い。浅いところに不透水層 となる粘土層があるためである(こんぶくろ池公園 と同様)

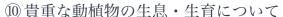
⑧ 人の立ち入りについて

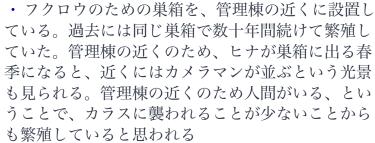
・ 人の立ち入りは、24 時間可能(人が園内に立ち入り禁止とするような柵はない。こんぶくろ池公園と同様の柵で園路を仕切っている)。このため、夏季はカブトムシ取りなどで、柵をこえて林内に入る人もいる。動植物の捕獲・採取は禁止。柵をこえて林内に入っているのを見れば注意をする



⑨カブトムシ等の対応について

・開園当初、カラスに食べられていたので、カブトムシの生息が見られなかった。このため、「ぐんま昆虫の森」に相談に行き、カラスが視認できない黄色のネットを林内に張り巡らした(当初の設置場所は高く、ハシゴに乗って行ったが、その後は手の届く範囲で設置した)ところ、効果があり、カラスの飛来が少なくなり、カブトムシが見られるようになったが、その後は、人間による採取が増えることとなった





- ・オオタカが繁殖している。冬季、池にカモ類が来ることもあるが、オオタカに襲われるということもあり、冬季でも、水面に常にカモがいる、という状況にはなっていない。
- ・ 池の周囲には、水鳥が観察できるよう壁を設置している。水鳥の観察に壁は有効であり、通常よりも近くで観察できる。



① その他

・ 案内板等の状況



11月24日(日)池めぐりスタンプラリー&ワークショップ

北田 賢治

午前9時30分~午後3時

天候:雨のち曇り

参加者数:40名(14家族)

◇ 池めぐりスタンプラリー部会

今回のイベントでスタンプラリーを企画しました。こんぶくろ池、弁天池、トンボ池、ふじ池の四つの池をめぐり、配布したシートにスタンプを押すものですが、今回はひと工夫して「森のビンゴ」、「俳句や短歌をつくろう」、それからクイズの答え欄を設けて楽しんでもらうことにしました。森のビンゴでは、「どんぐり」や「紅葉した葉」などを見つけたら○をつけるものです。クイズでは、「コナラのどんぐりはどれ?」などの問題ですが、こんぶくろ池公園の特徴を記した解説も盛り込みました。(橋本谷 弘司)



当日朝は前日からの降雨が残りましたが、受付や工作工房の設営 準備の時は小雨もあがり開催することができました。来園者の出だ しは芳しくなかったようでしたが、その分皆さんにゆっくりと工作 に取り組んでいただきました。

竹とんぼは一つ穴と二つ穴の二種類を準備しました。一つ穴が18本と二つ穴が10本出ました。電動ドリルや小刀など、初めて使う工具にびっくりしながら、親と子の共同作業で完成させ広場で飛ばせて、子供たちは喜び楽しんでいたようです。

コースター作りは、初めてのノコギリの体験で"こわーい"と言いながら、お父さんにサポートされながら、15号台風で倒れた桜や杉の木を使用して作りました。カットした木にペイントで花や鳥や名前などを自由に描き入れ、「おじちゃん、これに穴を空けて」と言って、ペンダントや金メダルなどを作って、首飾りにするなど、子供たちの発想は無限の広がりを見せていました。また、お母さんにはさくら材の鍋敷きを作っていただき大変好評でした。

ワークショップの準備には毎週木曜日に、市川(健)さん、酒井さんに工作の下準備加工を、宗像さん、海野さん、山上さんにもサポートしていただき、また 桜・杉・竹材料の調達には伯耆田さんにご協力をいただきました。

子供たちに工作の体験と楽しい時間を過ごしていただくことができ有難うございました。(高山 武俊)





竹とんぼ・コースターにお絵かき



小刀で竹とんぼのシャフト作り

◇ 葉っぱスタンプ部会



スタート当初は雨で伸び悩んだ参加者数も、午後になって雨があがるとポツポツと増え始め、最終的には22名(内5名は大人)が参加してくださるという、嬉しい結果となりました。初めての試みでしたので、どうなる事かと心配もありましたが、参加者の皆さんは要領を掴むと次々にスタンプする葉っぱを選び、終始楽しそうに作業をしてくださいました。完成した作品は、色使いやデザインにそれぞれの個性が光り、どれも力作ばかり! 是非にとお願いをして、それぞれの記念写真を撮らせて頂きました。

事前に、園内で入手できる葉っぱの名前や形の違いなどにも注目しながらの作業を想定していましたが、小さなお子さんが多かったこともあり、時間的にそこまでできませんでした。せっかくですので、機会がありましたら、そんなことを課題にまた開催できたらと思います。

<反省点> 1) 当初、参加者が園内で見つけてきた葉っぱを使用することを想定していましたが、そういう方は、お一人のみであった。予め、スタッフが葉っぱを集めておいて良かった。 2) 会場を管理棟の中にさせて頂き、風雨を気にせず出来たことは勿論、水道が近かったことは助かった。 3) スタッフの人数はほぼ足りていたが、一度に8人が参加した際にはてんてこまいだった。 4) スタッフは立ちっぱなしになるので、交代制にするか、若しくは人選時に配慮が必要と感じた。 5) バッグを3枚希望して作って持っていかれた参加者がいた。予め、一人一枚と断りを入れるか、二枚目以降はご寄付を頂くか…。 6) 余ったバッグを消費する為にも、コンスタントにイベントを開催するか。その場合は申込制にして、受付は少人数とする。作業の前に、参加者に葉っぱ集めをしてもらい、解説するなど、考えたい。 (徳永 さと子)

◇ 俳句・短歌部会

俳句短歌コーナーには8人の方から俳句八句、短歌五首が寄せられました。ご協力有難うございました。初めての方が多かったようですが、それぞれの感性と知識、そして表現力等を駆使して個性豊か、しかもリアルで心の温かさ広さを感じさせる作品となったようです。

何よりも、「はじめの一歩」を踏み出したことが素晴らしいです。この一歩は非常に勇気のいることで、この一歩が出ないと二歩への弾みがつきません。とにかくスタートしたことで次の一歩が大いに楽しみとなりました。寄せられた作品を紹介します。 (松田 和生)

俳句

イベントにさくら咲かずにさくら来る

イチケン

もみじ狩り空へとびかふ竹とんぼ

高山 武俊

桜板絵を描き遊ぶ親子鷹

高山 武俊

金メダル自分につくる野分の木

高山 武俊

紅葉に集う小鳥の三羽四羽

中川望

天高く旋回するや大鷹が

ノーボール

安曇野の味を運んだ吊るし柿

米山 要

天高し池面(みなも)に揺れる蔦(つた)の赤 わらしべ

短歌

民話眠るこんぶくろ池もみじ濃く

かけ声ひびき杭打ちの音 K子

桜咲くイベント会場人の波

*すべてサクラでああ悲しきや*ショーケン

こんぶくろ池自然の森に集まりし

フルコーラスやああホトトギス ショーケン

晩秋や池の畔に佇めば

君と腕組む昔のあなた

ノーボール

足どこに運ぶべきかと迷いたり

自然の森の紅葉じゅうたん わらしべ

◇ アンケート集計結果(回収数5枚<18人>)

- 1. 年齢層: < 8歳以下7人、19~30代4人、40~50代3人、60歳以 上4人>
- 2. 居住地: <柏市 13 人、流山市 4 人、その他(守谷市) 1 人>
- 3. 来園回数:1号近隣公園<初めて1家族、2回以上3家族、未回 答1家族>

こんぶくろ池自然博物公園<初めて1家族、2回以上2家族、未回 答2家族>

- 4. イベント情報 入手: <ホームページ1家族、チラシ2家族、流山 市広報1家族、UDCK1家族>
- 5. 何に興味があるか: <四季の景色4家族、植物2家族、自然との ふれあい4家族>
- 6. 希望イベント: <花巡り2家族、植物観察会1家族、昆虫等観察 会2家族、夜間昆虫観察会2家族、今回のイベント3家族、未回 答1家族>
- 7. NPO活動について: <内容を知りたい1家族、2-3年後検討3家 族、未回答1家族>

12 月理事会

2019年12月7日(土) 10:00~13:10

出席理事:岡本、上田、北田、中川、藤原、萩原

審議検討事項

1. 「会員」種類の見直し(案)について

会費未納会員、例会・管理当番不参加会員の対応策として、本案の趣旨説明を受け審議したが「特別会員」、「準会員」を設けることについては否決。ただし、規約改正を伴わない「サポーター」を運用上設けることを確認した。当面、会費未納で例会・管理当番不参加者全員の意思確認を実施(担当;岡本)することを決定した。

2. 「公園作り・サポーター講座」(12/8)の開催と今後の会員・サポーター獲得に向けた方策について

当日の運営方法、タイムスケジュール、役割分担について提案がありこれを承認。参加者2名のため座談会方式で実施する。柏市で広報紙掲載とチラシを関連施設に置くなどしたが参加申込みが少なかったことを受けて、今後の会員確保の取組みにつき協議。観察会やシンポジウムなどの機会をとらえて一声かけたり、チラシを渡すとともにHPの定例活動日案内の改善・充実を図ることを確認した。

3. NPO 設立 10 周年にあたり「年譜とあゆみ」の作成スケジュール 等について

協議した結果、作成しないことを決定した。過去の総会資料等から活動報告を取り出してまとめる方法もあるとの意見があったものの取組みの具体化までの話に進展せず。

4. カシニワ・フェスタ 2020 について

審議の結果、このフェスタに当法人として参加することを決定した。参加内容としてサポーター体験会、キンラン観察会 (5/10)、ワークショップ (5/17) などの案が挙げられたのでその方向で具体化していくことを確認。

5. 寄付金の増加方策について

会員手作りのみやげ協力金(現行50円表示)の増額について審議。100円が適当ではという発言や協力金という性格から具体的に金額を明示することに疑問を持つ意見があったが、今後、50円表示を外して協力金の金額は示さず、来園者から聞かれた場合は「100円程度」という対応をすることを確認した。また、柏市民公益活動促進基金(柏・愛らぶ基金)の支援金申請については、柏市より委託金を受領している当法人は対象外。

6. 個人情報保護の観点より当 NPO のホームページに掲載可能な写 真について

ホームページに載せるイベント等への参加者の写真について協 議。開始時のミーティングや挨拶の際に撮影のことや当会ホーム ページにアップすることを必ず告げるとともに、撮影を望まない 参加者には配慮することを確認した。

7. その他

① 柏ネイチャークラフト展 2020 (2/8~16 あけぼの山農業公園 主催;ちば里山トラスト)

出展参加有無については、12月末までに確認し出展品の内容 報告は 1/20 までを予定)

- →出展参加の方向で高山、徳永両会員に打診する。
- ② 定例活動日の作業内容の明確化 →里山(伯耆田)、調査(藤 原)、ズミ(森田)が当・翌月の活動計画を作り、月初の理事 会で擦り合わせの上、会員に周知する。
- ③ ホームページ改修について →山上会員中心にワーキンググル ープを立ち上げ、新年度を目途に検討を行う(花暦や観察会報 告のバックナンバーを反映するなど)。
- ④ UDCK まちづくり協議会への参加 → 見送り

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

新入会員紹介 石川 博子さん



何十年か前に友達と遊びに来ました。今回誘われて遊びに来た ら昔とだいぶん変わって、きれいな所だと思いました。

自然が好きなので、こんぶくろは静かでセミの声や鳥の声が聴 けるところが良いです。